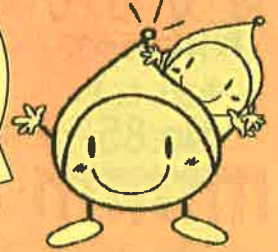


ささえ

奇数月発行

地域をよくするには
地域の実態を知る。
どうしたらよくなるか
考える、実行する。



エールくんとミニさぼちゃん

住民自治とは 特定の人だけでなく、住民参加で行われる形

①  ?

②  自治会に加入すると
仕事が多くて大変だ！
役員はできないよ！

③  まったくどうだね……

④  でも、子どもが一人で
泣いている時や急病の時
近所の人に声掛けをして
もらったの。

⑤  そのときどんな気持ち
でしたの？

⑥  子どもも安心したし、普段から
近所の人とコミュニケーションを
取った方がいいなと思ったわ。
これから災害も増えそうだし……

⑦  美しい自然があって、
楽しいことがいっぱい！
故郷に帰って来なくなるよ。

住民自治って、例年通りの自治会の
行事だけをやるのではなく、地域住民が
一緒に「地域を良くすること」を考え
参加することかな。それが「楽しいこと」
だったらみんなまとまるよね！



取材に行っ
てきました！
No.85



協働のまちづくり 出前講座

本藤生地区自治会は、まちづくりを進めるために「地域住民が住み良い地域にしていこう」という意識を持ち、「地域をどうしたいか」みんなの意見を集約し、地域づくりに取り組んでいます。

7月15日(土) ライフスタイル協同組合代表の船崎美智子氏を講師に、住民の意見を幅広く集約し、地域を知るために、アンケート作りのワークショップを開催しました。

まず地域を知る、次にどんな地域にしたいか考える、そして動く。段階的に自分達の手でゆっくりと進めています。

8月19日(土)、本藤生地区では、「みんなでこの地域を盛り上げよう！子ども達が帰って来なくなる地域にしよう！」という地域の方の熱意で、第2回納涼会を開催し、大変盛り上がっていました。

地域の役員のみなさんは、200人以上の地域の方をお迎えし、イキイキしていて、すごく楽しそうでした。

持続可能な地域づくりは「無理なく、楽しいことをする！」ことだと気づきました。



子どもも若い人もたくさん
人でにぎわいました。



フライドポテト、フランクフルト
から揚げ、かき氷等々たくさん
用意しました。



「岩国よいとこ」、「岩国音頭」を
みんなで楽しく踊りました。

市民活動さぼーと講座

報告



想いを伝えるためにできること
～ロゴと三つ折りパンフレットの作り方～



H29年8月5日(土) 開催

午前の部「魅力が伝わる団体のロゴづくり」

- ・ロゴをつくる前の準備 = ロゴを通じて伝えたい想いの整理をすることが大事。
- ・ロゴは単なる組織のマークではない。あなたの団体が相手に与えたい印象って何だろう。

午後の部「読み手の心をギュッとつかむ三つ折りパンフレットの作り方」

- ・いきなりパソコンを開いて作り始めるより、手書きでラフスケッチをすることからはじめてみよう。
- ・何を載せようかと内容を考えがちだが、先に考えるべきは目的である。整理→発想→表現の3つのステップ

今回の講座は、午前と午後で内容を変えての開催でしたが、参加された皆さんが真剣に耳を傾けられ、終了時間ギリギリまで質問をされていました。支援センターでも講座で学んだことを活かして、想いを伝えることのできるロゴや三つ折りパンフレットを作成したいと思います。



「IT時代の地域活性化」
～想定外を想定してますか？～

H29年8月26日(土) 開催

最初にグループに分かれワークショップを行い、困っていること、うまくいっていることを話し合ってもらいました。そこで、グループの中に困っていて解決したいことがあれば、うまくいってる人の意見を参考にしてもらい、解決策を見つけてもらいました。

その後、実際にあった事例を交えて、SNSの利活用、防災・防犯での利活用等教えて頂き、活動する上で使い方のヒントになったのかと思います。講座中、最初と休憩後に講師の先生が参加者の方を笑顔にするために魔法をかけて下さり、講座中は楽しく有意義でした。(笑顔の魔法は、参加者同士で6人の人とハイタッチをすることでした。)



市民活動団体のイベント情報



スタンプラリー第3回「かるたで探そう 玖珂の町」

玖珂町郷土かるたにのっている場所に行ってみよう！歴史を学んだあとは、みなでお昼ごはんと昔の遊び、○×クイズにチャレンジしよう！「君はふるさと博士になれるかな?！」

- 日 時：平成29年9月23日（土）9:00～（雨天順延）
- 集合場所：大田コミュニティセンター（玖珂町4124-1）
- 参加料：300円（軽食代含む） ●対象：小学生以上（できるだけ親子参加で）
- 問合せ：玖珂町ふるさと再生の会 ☎ 090-8719-5422（河北）
- 申込先：岩国市教育委員会玖珂支所 ☎ 0827-82-5445 ※申込締切9月11日（月）



「チャイルドライン 受け手・スタッフ養成講座」

～子どもたちが安心を感じられる大人であるために～

チャイルドラインは、18歳までの子どもがかける電話。指示、説教、評価をすることなく、ただ子どもの声を受けとめ気持ちを聴く電話です。子どもからの電話を受ける人を『受け手』といいます。少しでも多くの子どもの声を受けとめるために、スタッフが増えてほしいとの願いのもと、受講者を募っています。

- 日 時：平成29年9月16日（土）～12月16日（土）（全13回 土、日曜日）
- 場 所：岩国市中央公民館
- 受講料：12,000円（13回分） ●託 児：1人300円/半日（保険料含む）
- 講 師：臨床心理士、大学講師他
- 問合せ・申込み：チャイルドライン岩国ステーション事務局 ☎ 080-1636-1135



恋かるたとBBQ 昔の遊びで一緒にあそぼ♪

体育館で軽く動いて、BBQを楽しもう！あのダーツの旅出演の錦町のおやしバンドも来るよ！

- 日 時：平成29年10月8日（日） ●場 所：周東勤労青少年ホーム体育館
- 定 員：独身の男女各15名（23歳～39歳） ●参加費：男性 2500円、女性 2000円
- 問合せ：NPO法人いわくにネットワークグループ ☎ 0827-44-0288



市民活動さばーと講座

「まちが好き、人が好き～自分たちのまちに愛着と誇りを持つために～」募集中！

野球を例に、協働のまちづくりの進め方を学ぶ（グラウンド「まち」、9人「住民みんな」、チームワーク「協働」）

- 日 時：平成29年9月23日（祝土）13:30～
- 場 所：岩国市周東勤労青少年ホーム ●参加費：無 料
- 講 師：松下 啓一 氏（相模女子大学教授）

「広報紙の作り方のコツ」～ 伝わる！文章力 ～

現役新聞記者さんを講師に迎え、文章や広報紙を作るための効果的なワザやポイントを一緒に学びませんか？

- 日 時：平成29年9月27日（水） 13:30～15:30
- 場 所：岩国市中央公民館 第1講座室 ●定 員：30人（先着順） ●受講料：無 料
- 講 師：小笠 喜徳 氏（中国新聞社 岩国総局長）



第2回 登録団体交流会

市民活動団体同士の交流を図り、繋がりをつくる。また、団体運営に必要な論理的に物事を考えるロジック手法を使って事業計画の作成。

- 日 時：平成29年9月29日（金） 18:30～20:30
- 場 所：岩国市中央公民館 第1講座室
- 内 容：団体からのお知らせ・市民活動カフェ2018について・ロジック手法を用いた事業計画

地域づくりの第1歩はまちあるきから 通津地区編

自分の住んでいる地域を、いつもと違う視点で歩いてみませんか？きっと新しい事や面白い事が発見できることでしょう！

- 日 時：平成29年10月28日（土） 9:00～12:00（雨天中止）
- 場 所：通津小学校プール前（集合） ●定員：30人（先着順） ●参加費：無料
- 持参物：タオル・飲み物 ●ガイド：NPO法人通津地区自然と環境を守る会



助成金ニュース

①内容・対象②助成金額・件数③締切④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

女性いきいき大賞

- ① 山口県内で、自主的な活動（くらしづくり・子育て・福祉・地域づくり等）を行っている団体。3年以上の活動経験を持ち、5名以上のメンバーで構成され、代表者もしくは運営中心メンバーが女性の団体。
- ② 最優秀賞：副賞30万円 優秀賞：副賞20万円 奨励賞：副賞10万円
- ③ 平成29年9月30日（土）消印有効
- ④ コープやまぐち 組合員活動グループ TEL:0120-27-5520

岩国市自発的活動支援モデル事業

- ① 市内に住んでいる障害者(児)、その家族または関係者などからなる団体。新たに行う支援事業(ピアサポート事業、災害対策事業、孤立防止支援事業、社会活動支援事業、ボランティア支援事業など)
- ② 上限10万円
- ③ 平成29年9月29日（金）消印有効
- ④ 岩国市役所 障害者支援課 TEL:29-2522

公募のご案内

- ① 山口県において、教育、スポーツ部門、芸術文化部門に著しい成果をみせ、他の範とするに足る団体
- ② 審査の上決定
- ③ 平成29年10月31日（火）必着
- ④ 公益財団法人 西京教育文化振興財団 TEL:0834-22-7665



岩国のへえ～ 80の巻

かをる「梅が香」松がね油

江戸時代、岩国の町で売っていた名物では「松金油」がいちばん有名でした。天和元年（1681）松金屋の四代目田中又三郎満清が髪に付ける香油を松根の樹脂により発明し、売り出したのが始まりと言われています。

家伝によれば、松金屋は初め靴屋と号して材木町にいました。三代目の清兵衛のとき玖珂町に移って松金屋と改称しました。

五代目の満慶は和歌を学ぶために、京にも出向き、松がね油を歌に詠みました。やがて戯作家の山東京伝の狂歌に「岩国の十露盤橋の油店、二一天下にかほる梅が香」とうたわれ、都まで芳香を移すようになりました。「梅が香」は、松がね油の商品名です。

参考資料：岩国の歴史散歩



編集後記

今夏は特に気温が高く、酷暑が続きました。気象の異変でしょうか。全国で豪雨災害が相次ぎ、大きな被害がとて心配です。

一方で、夏の風物詩、全国高校野球大会では、今年も熱戦が繰り広げられ、球児の全力で懸命な姿に、感動と元気をもらいました。地元地域もまた活性化したことでしょう。

私たち支援センターも、活気ある住み良い地域づくりに向けて取り組んでいます。みんなで共に支え合い、わがまち岩国をもっと元気に盛り上げていきましょう。(ミヤ)

支援センター利用状況(7、8月)

・印刷・コピー・大判プリンター	187件
・相談	31件
・登録団体数	88団体(のべ数)

発行：いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国 4-4-15
(岩国市中央公民館3階)

TEL: 0827-44-0288 FAX: 0827-44-0324

E-mail: shien@sky.icn-tv.ne.jp

HP: <http://www.iwakuni-shien-center.com/>

Facebook: <https://www.facebook.com/iwakunishien>